

「千葉ライフ・ライン事務局」からの とれたてホットニュース

しかし、最後まで耐え忍ぶ者は救われます。この御国の福音は全世界に宣べ伝えられて、すべての国民にあかしされ、それから、終わりの日が来ます。(マタイ24篇13, 14節)

1. 教会の案内をテレビでしませんか。

ライフ・ラインで教会の案内をいたします。

1番組での案内はCM献金がひと月3000円です。毎週ですと、ひと月12000円となります。

写真、名称、住所、電話番号を添えて、メールでお申し込みください。

3月末の締め切り。5月案内開始です。

2. 2011年のラリーについて

祈っておられる地域がありましたら、事務局にお知らせください。メール、または、お電話で。

3. 教会CMについて

PBAでは2011年7月に向けて番組の完全デジタル化をいたします。現在放映中の教会CMも表示変更が検討されています。

4. 引き続きお祈りください

*番組を見て、救われる方が起こされるように。

正直、被災地コンサートを始めた当初は、歌など歌うよりも、食料を運んだり、作業の手伝いをしたりしたほうが役に立つのでは……との葛藤もあった。救援物資も運ばないで、申し訳なく思いながら歌っていたときである。一人のおばさんが私のところに来て、こんな言葉を言ってくれたのだ。「あなたの歌聴いて、ようやく何か食べようという気になったわ。水も食料も山ほど積んであるけど、何も食欲なかった。ほんまにおおきに。」(森祐里「歌の旅をつづけて」P.10)

森祐里さんは、1995年阪神淡路大震災で弟を失い、それがきっかけで被災地コンサートを各地で行っています。きっといつか、今回の東北関東大震災の被災地にも駆けつけてくれるでしょう。今は、水、食料、電気、衣類、暖を取るための灯油、それら運ぶためのガソリン、等々生活に必要な物資が緊急に必要とされています。しかし、森祐里さんは、「心の震災」に苦しむ方々に、唯一届くことのできる救援物資は、「神様の愛」だけ(同P.18)と心に届くコンサートを続けています。

私たちが支援している「ライフ・ライン」も同じです。苦しんでいる方々が、「神様の愛」を知って、救いの道へと歩み出せる心に届く番組ですから。

<2011年4月の千葉ライフ・ライン祈禱会>

ともに祈りましょう。是非ご参加下さい。

4月6日(水) 午後2時~3時半

千葉クリスチャンセンター(CCC)ビル3F

(〒260-0021 千葉市中央区新宿2-8-2)

連絡先 TEL 043-247-3058 事務局)

<奉仕とお交わり>

4月16日(土) 午後1時半から千葉クリスチャンセンタービル3Fハーベストルームでニュースレター発送を行います。毎回4~5教会7~8名の奉仕者で、楽しい交わりのひと時です。どなたでも自由にご参加ください。心よりお待ちしております。毎回の奉仕、感謝します。

=====



<2月のおたよりから>

○ 受洗6年目の私にとって“心のオアシス”、心が表れます。癒される番組どうもありがとうございます。

○ レンズ研磨の山崎さんの放映よかったです。レンズの磨きと人間性の磨きが視覚的に心に残りました。又、よいことだから続けてきた。時代に流されずにきたからよいものが残ったと思い、これからも伝え続けられますように。又信仰を伝え続けているライフラインに感謝します。

○ 白石先生は、別世界の方なんだろうなと拝見しておりましたら、若い頃、同じような悩みを持ち、苦しんでいらっしやっただので、とても共感を覚えてたいへんうれしく思いました。本日のお話し、誠にありがとうございました。

○ 尊い放送をありがとうございます。

○ 確信による平安を！ありがとうございます。

○ 2月19日の朝のライフラインを見させて頂きヨハネの福音書 牧師様のかみ砕いたお話がとてもわかりやすかったです。これからも頑張ってください。

<あとがき> 3月11日、大地震、大津波が起こり、そしてそれに続く原発からの放射能漏れによって被災地は三重苦にみまわれています。この地に主の哀れみがありますように。主の再臨の信仰を持ち、備えの心でいたいです。(山本)

【 祈 り 】 番組制作・必要の満たし・視聴者の増加と心が耕されるように

【折込のご案内】B5判までのチラシ1枚5円×2,200部=11,000円。サンプルは第1土曜必着。